

東京ニューシティ管弦楽団

音楽監督・常任指揮者 内藤 彰
 アドミニストレイティブディレクター 渡部 中子
 コンサートマスター 藤田 めぐみ
 インスペクター 金岡 秀典 山川 奈緒子

ライブラリアン 上村 雅英
 プロデューサー 小坂井 司
 事務局 渡辺 晶子 鈴木 光子 多田 圭介

●————Violins

◎藤田 めぐみ
 ○上原 まさみ
 荒巻 泉
 犬飼 素子
 井上 直子
 大津 千代子
 小澤 郁子
 栗原 りか
 小林 清美
 坂井 みどり
 迫田 信子
 鈴木 順子
 鈴木 わらび
 綱木 郁
 中澤 真理子
 中村 朱見
 福田 貴子
 宮林 陽子
 室井 美子
 山江 洋子

●————Violas

山川 奈緒子
 山本 佳子
 吉井 孝子
 ●————Violas
 ○桜井 多美子
 尾台 和佳
 竹鼻 江美子
 東間 かおる
 平沢 純
 堀江 冬子
 松田 美奈子
 光行 澄子
 ●————Violoncellos
 ○齋藤 章一
 渥見 光太郎
 五十嵐 大
 大島 純
 多湖 あかね
 富成 倫子
 松 稔
 山幡 正光

●————Doublebasses

○河原田 潤
 青山 幸成
 石川 仁
 江上 靖
 金岡 秀典
 若林 昭
 ●————Flutes
 井ノ上 洋
 内山 豊美
 ●————Oboes
 徳田 振作
 井上 恵子
 ●————Clarinets
 西尾 郁子
 松元 香
 ●————Bassoons
 藤田 旬
 松里 俊明
 ●————Horns
 小川 正毅

●————Trumpets

小林 祐治
 松浦 光男
 小笠原 一弘
 上村 雅英

●————Trombones

中西 清一
 染谷 始

●————Trombone

伊藤 吉隆
 中村 勝生

●————Bass Trombone

恵藤 康充

●————Tuba

松下 晃一

●————Timpani

米山 明

●————Percussions

平子 久江
 石澤 学

●————Stagemanager

多田 圭介

東京ニューシティ管弦楽団2002年定期演奏会

音楽監督・常任指揮者 内藤 彰

●2002年2月14日(木) 19:00～ 第24回定期演奏会 東京芸術劇場(大)
 指揮:アレクサンドロ・ヴィティエッロ/MS:ダニエラ・バルチャッローナ
 「タンクレディ」より 序曲、「こんなに胸騒ぎが」
 「アルジェのイタリヤ女」より 序曲、「むごい運命よ、はかない恋よ」
 「セミラミデ」より 序曲、「私はバビロニアで見た…」
 「ウェルテル」より 手紙の歌
 「カルメン」より 前奏曲、セギディーリャ 他
 S:¥10000 A:¥8000 B:¥6000 C:¥4000

●4月20日(土) 18:00～ 北とびあ さくらホール
 第25回定期演奏会(東京合唱協会第18回定期演奏会)
 指揮:内藤彰 合唱:東京合唱協会(日本最高峰プロ混声合唱団)
 ◇華麗なるワグナー・オペラ・ハイライト&合唱名曲選
 「タンホイザー」「さまよえるオランダ人」「ローエングリン」「マイスタージンガー」より
 ◇ヴェルディ・オペラ・ハイライト
 「オテロ」より 開幕からオテロの登場まで 「椿姫」より 二幕二場 他

●6月24日(月) 19:00～ 第26回定期演奏会 東京芸術劇場(大)
 ●9月13日(金) 19:00～ 第27回定期演奏会 東京芸術劇場(大)
 指揮:内藤彰 ピアノ:ナウム・シュタルクマン
 ●11月13日(水) 19:00～ 第28回定期演奏会 東京芸術劇場(大)
 指揮:内藤彰 テノール:アントニーノ・シラグーザ

■お問い合わせ・お申し込み 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-31-13 ライオンズマンション東池袋第3-805
 <東京ニューシティ管弦楽団事務局> TEL:03-5952-7617 FAX:03-5952-7618 ホームページ <http://www2.plala.or.jp/newcity/>

●稲田 潤子 ピアノリサイタル ● 2002年4月20日(土) 6:00 p.m. 王子ホール プロコフィエフ、ラフマニノフ 他
 お問い合わせ 株式会社カワイ音楽企画 TEL:03-3320-1671

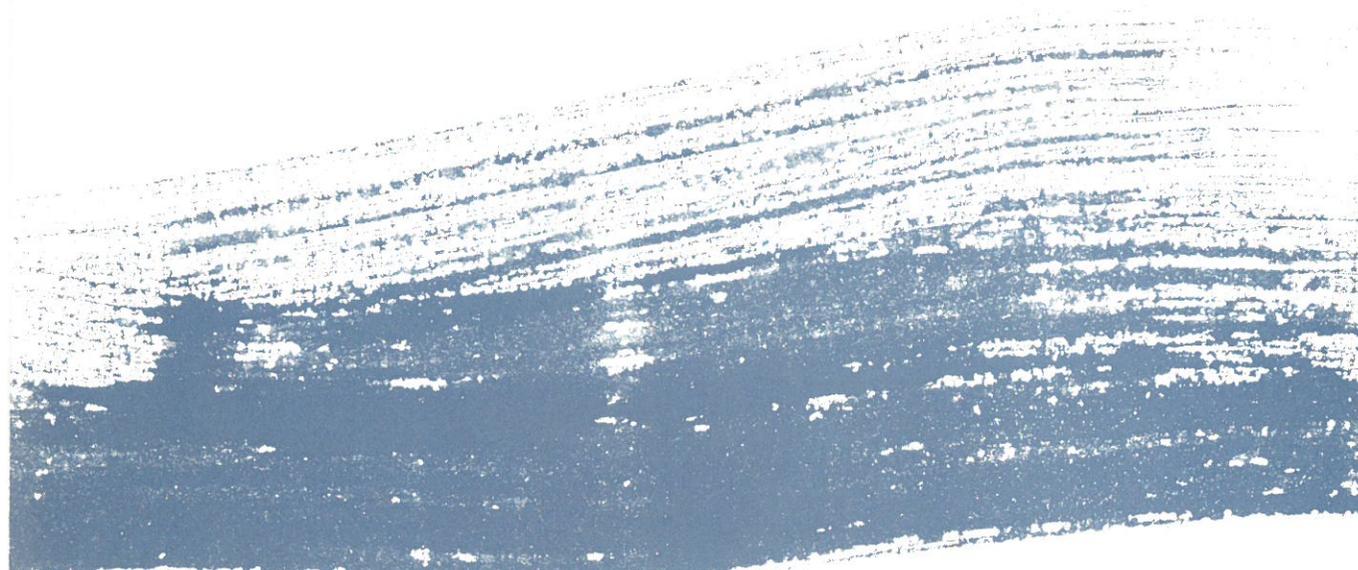


音楽界のサポーター

より良いコンサートのために……。

アイ・エム・エス ●楽器リース ●保管 ●移動 ●ステージ・スタッフ派遣

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4 ゆうてんビル1F PHONE.03-3397-2292 FAX.03-3397-7728
 URL <http://www.jade.dti.ne.jp/~ims> E-mail ims@jade.dti.ne.jp



東京ニューシティ管弦楽団

第23回定期演奏会

2001年11月21日(水)

午後7時開演

東京芸術劇場大ホール

■主催 東京ニューシティ管弦楽団

<本日のロビーコンサート> 18時20分～
 ヤナーチェク ●管楽6重奏のための組曲「青春」

program

ラフマニノフ●「ヴォカリーズ」op.34-14

ラフマニノフ●ピアノ協奏曲第3番ニ短調op.30

INTERMISSION

シューマン●交響曲第3番「ライン」変ホ長調op.97

T O K Y O N E

ラフマニノフ(1873~1943)
ヴォカリーズ作品34-14

夢幻の美しさをたたえた「ラフマニノフのヴォカリーズ」に野暮なコメントは不要でしょうが……。

オリジナルは、ラフマニノフが1912年に作曲した「14の歌曲」作品34の終曲ですが、オーケストラ、ピアノ、ヴァイオリン、フルート曲のいずれかで(つまり器楽曲として)聴く機会の方が多くなっています。あまりに素晴らしいメロディゆえ、ラフマニノフ自身や多くの演奏家によっていくつかの楽器のために編曲された、というわけです。

ヴォカリーズとはフランス語で、やや固い言い回しですと母音唱法のこと。言葉や音名・階名を用いずに母音だけで歌う唱法で、もともとは発声練習に用いられました。やがて歌曲の題名にもなり、ラフマニノフのほか、フォーレ、ラヴェルに名曲があります。

芳香(=アロマ、少し前の流行り言葉で言えばフェロモン)漂うラフマニノフ節に酔いしれる至福のひとつとき。次の大曲への気の利いたオードヴルにもなっています。



稲田 潤子(ピアノ)
Junko Inada

東京音楽大学附属高等学校ピアノ演奏家コースにて最優秀賞を受賞し、首席で卒業。同大学ピアノ演奏家コース入学後すぐ渡仏し、パリ国立高等音楽院に入学。同音楽院ピアノ科、室内楽科ともに一等賞で卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にて演奏家資格を取得など研鑽を積む。

全日本学生音楽コンクール第二位、日本音楽コンクール入選、ブルガリア・ソフィア・アルペールルーセル国際ピアノ音楽コンクール第二位と室内楽賞、など数々のコンクールに優勝、入賞をする。1997年にはロシア(モスクワ)ラフマニノフ国際音楽コンクールピアノ部門にて、日本人としては過去最高位である第三位(二位なし)を受賞し注目を集めた。

現在フランスを中心にヨーロッパ各地で演奏活動をし、また日本でもNHKテレビ「ショパンを弾く」、NHK「FMリサイタル」他に出演。アリオン音楽財団企画によるコンサートでは「日本人離れた豪快さ」と好評を博すなど、着実な活動を示す現在最も期待されるピアニストの一人である。

モスクワ交響楽団はじめ数多くのオーケストラと共演。社団法人全日本ピアノ指導者協会(略称PTNA)正会員。パリ在住。

これまでに故三浦浩、三浦捷子、中島和彦、松浦豊明、ジャン＝クロード・ベスティエ、ジェルメース・ムニエ他の各氏に師事。

演奏会評より:洗練されたピアニズムの持ち主、個々の作品を全く違う音色で弾きこなせる魅力。ノ音への特別な感覚と力強くインパクトのある意欲的な表現、ヴィルトウオジティにあふれる迫力と器の大きさ。ノスケールの大きなショパン、積極的でドラマチックなリスト、とりわけラフマニノフは魅力的で自己のスタイルをしっかり確立させたピアニストとして今後大いに注目したい。



東京ニューシティ管弦楽団
Tokyo New City Orchestra

東京ニューシティ管弦楽団は、1990年、音楽監督、常任指揮者に内藤彰を擁し設立された。定期演奏会の他、名曲コンサート、協奏曲・オペラ・バレエの伴奏、レコーディングなど幅広く活躍。

特にオペラの分野では評価が高く、二期会、藤原歌劇団の他、レナター・スコット、アルフレード・クラウス、ヘルマン・プライ、カーティア・リッチャレリ、マリエッタ・デビアー、マリア・キアラ、渡辺葉子等世界で活躍するオペラ歌手との共演も多く、聴衆や批評家のみならず、世界の一流オーケストラと共演している彼らからも、絶讃の言葉を贈られた。

バレエでは、国内のバレエ団の他、英国バーミンガムロイヤルバレエ団、ロシア国立レニングラードバレエ団等海外からのバレエ団の日本公演でも大変高い評価を得ており、今後も内外のバレエ団の公演がめじろ押しである。

また、桂三枝、三枝成彰、ケント・ギルバート、マリ・クリスティース等を迎えてのファミリーコンサートも、大変評判が良く、多くの方から親しまれている。

メンバー個人個人の實力はもちろん、それぞれの温かい人間性も共演の指揮者、ソリストから大変高い評価を得ている。また、メンバーによる室内楽の活動も大変盛んで、特に、ニューシティウィンドアンサンブルは福祉施設や医療施設での訪問演奏を行うなど、ボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした幅の広い活動が各界より好評をもって迎えられている。一切の無駄を省いた新しいオーケストラの運営方針もユニークな発展を見せており、近年その活動が各方面から注目されている。

2000年度より定期演奏会を年間5回に増やし、東京第9番目のオーケストラとして今後の活躍が益々期待されている。



内藤 彰(指揮)
Akira Naito

名古屋大学理学部卒業。在学中より指揮を山田一雄氏に師事する。桐朋学園大学研究科(指揮専攻)にて、小澤征爾氏、秋山和慶氏、尾高忠明氏他に師事し、修了後、(社)山形交響楽団の専属指揮者を3年間務める。

これまでに新日本フィル、東フィル、東響、新星日響、シティ・フィル、九響、名フィル他、日本の多くの主要オーケストラを指揮してきた。シンフォニーはもちろん、オペラ・バレエの分野でも、その音楽性とテクニックは聴衆の心からの共感と、共演者の絶大な信頼を得ている。

海外では、1991年旧ユーゴスラヴィアを代表するベオグラードフィルハーモニーを指揮し好評を博した。また、1992年には、モスクワ音楽院大ホールにて、モスクワ交響楽団を指揮し、最初のステージから満員の聴衆の5度のカーテンコールを受け、多くの楽員たちからもロシア音楽の魂を日本人から教えられたと絶賛された。1996年5月には、ロシアの国立ヴァローニシュ歌劇場にて、「セビリアの理髪師」を指揮し、絶大な賞讃を受けた。1997年5月には、ベラルーシ国立歌劇場にて「蝶々夫人」を指揮し、その成功により、今後も同歌劇場から定期的な客演が要請されている。本年3月 Санкт・ペテルスブルグ・カペラ交響楽団に客演し、その模様は新聞、テレビ等で大きく取り上げられ話題を呼んだ。現在、東京ニューシティ管弦楽団、及び、プロ混声合唱団「東京合唱協会」音楽監督、常任指揮者。日本指揮者協会幹事。ロシア国内外での指揮、実績を評価され、今秋よりロシア国立ウリヤノフスクフィルハーモニー首席客演指揮者に就任。